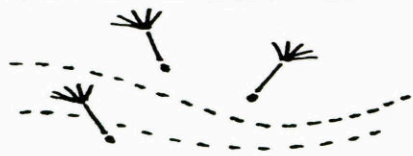
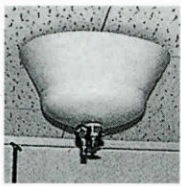


春先は空気が乾燥していています



春の全国火災

●住宅用自動消火装置



天井に取り付ける住宅用下方放出型自動消火装置や壁に取り付ける住宅用フ

ードファン付レンジ用自動消火装置があります。お年寄りの部屋や台所に適しています。

●住宅用消火器



住宅防火には欠かせない機器です。

住宅火災のポイントには、まず火を「出さない」こと。もし失火したら「早く知る」「広げない」「早く消す」の4つです。そのための備えとして、次のような住宅用防災機器等があります。しかし、それら住宅用防災機器等は、油断や慢心など心のスキを埋めるためのものではありません。住宅防火の一番の対策は、やはり一人一人の「火を出さない」という心がけです。

まさかに備える工夫

●防災品

火の拡大を押さえることができます。カーテンやじゅうたん、家具などがあります。

●安全暖房器具

揺れを感じたり異常に過熱したりすると自動的に火が消えます。

●天ぷら油火災用消火具

スプレー式で片手で一瞬のうちに消火できます。

●住宅用火災警報器

▼煙感知式



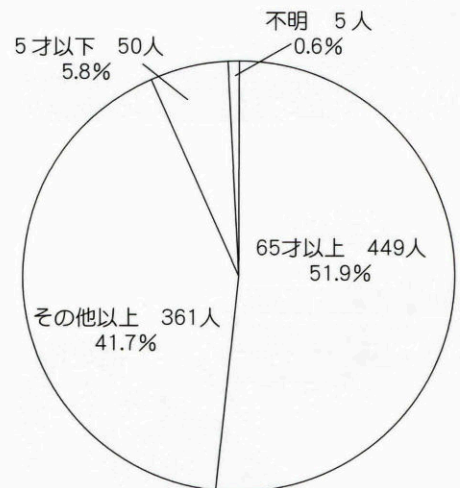
▼熱感知式



万一のとき、火災の発生を素早く知らせます。

住宅火災による死者に占める高齢者の割合

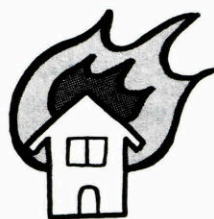
(平成10年中住宅火災による死者数865人)



全体の約半数が65才以上の高齢者です。

平成11年中の長門地区管内で発生した火災は22件(うち建物火災が14件、林野火災が6件)で、前年に比べ2件の増となりました。死者の発生はなかったものの、火災による負傷者が5名、損害額が、26、378千円となっています。三隅町でも3件の火災が発生しました。

火災発生状況



通報のポイント

- ① 火災が起こったことを知らせる
- ② 出火場所を伝える (住所や目印になる建物など)
- ③ 火災の大きさ (何が燃えているのか。建物の場合は建物の種類、燃えている階も伝えます)
- ④ 逃げ遅れた人やけが人がいるか
- ⑤ 通報者の名前・電話番号



火災のときの 119番

ポヤなどの小さな火災でも、発見したら、119番通報をしてください。119番に通報すると、最寄りの消防本部の司令室につながりますので、左のようなポイントで、できるだけ正確に伝えてください。

*携帯電話やPHSからの119番通報は、一部の地域で使用できないことがあります。また、通報地点と離れた地域の消防機関につながることもあるので、つながったら、現在地を正確に伝えてください。